

主日礼拝

2022 年 08 月 14 日
午前 10 時 30 分

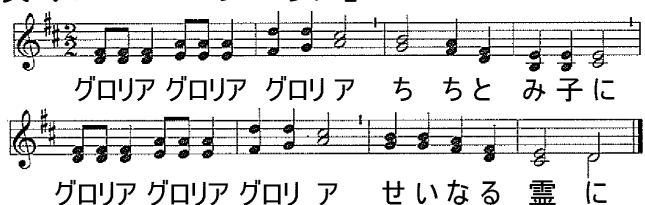
前奏 「いつくしみ深い」 (T.タマリ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「いかに楽しいことでしょう
主に感謝をささげることは
いと高き神よ、御名をほめ歌い
朝ごとに、あなたの慈しみを
夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは
十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ
琴の調べに合わせて。」 (詩編 92：1～4)

頌栄 26「グロリア」



リタニー「平和の源に」(教師の友 8 月)

司式者：神さま、昔も今も戦争で泣き悲しむ人がいます。

みんな：私^{わたし}たちは忘^{わす}れません。司式者：今、街が焼かれ、多くの命が失われているように、
私たちの国も昔、他の国の人たちを苦しめました。みんな：戦争^{せんそう}は人^{ひと}の心^{こころ}を深^{ふか}い暗^{くら}闇^{やみ}にします。一緒に：二^に度^どと起^おこしてはいけません。司式者：「剣^{つるぎ}を鋤^{すき}に、槍^{やり}を鎌^{かま}に打ち直せ！」
神さまの声が聞こえます。みんな：ミサイルを“稲刈^{いなか}りの鎌^{かま}”に、戦車^{せんしゃ}を“働^{はたら}く車^{くるま}”
に作り替^{つく}える勇^{ゆう}気^きをください。司式者：「平和を実現する人々は、幸いである」
イエスさまの声が聞こえます。みんな：どうか私^{わたし}たちを平和^{へいわ}の源^{みなもと}にしてください。

祈祷

献金 ご用意のある方は、神さまへの感謝の気持ちをもってお献^{けん}げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。アーメン。

聖書 マルコによる福音書 9：42～50

新約(新共同訳)P80

42「わたしを信じるこれらの小さな者の一人をつまづかせる者は、大きな石臼を首に懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がはるかによい。 43もし片方の手があなたをつまづかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両手がそろったまま地獄の消えない火の中に落ちるよりは、片手になっても命にあずかる方がよい。 44† 45もし片方の足があなたをつまづかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両足がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、片足になっても命にあずかる方がよい。 46† 47もし片方の目があなたをつまづかせるなら、えぐり出しなさい。両方の目がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、一つの目になっても神の国に入る方がよい。 48地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。 49人は皆、火で塩味を付けられる。 50塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」

賛美 60 「どんなにちいさいことりでも」

1. 「ど ん な に ち い さ い こ と り で も
 2. 「な ま え も し ら な い の は な も
 3. 「よ い こ に な れ な い わ た し で も

か み さ ま は そ だ て て く だ さ る」 っ て
 か み さ ま は さ か せ て く だ さ る」 っ て
 か み さ ま は あ い し て く だ さ る」 っ て

イ エ ス さ ま の お こ と ば
 イ エ ス さ ま の お こ と ば
 イ エ ス さ ま の お こ と ば

- 1 「どんなにちいさい ことりでも 2 「なまえもしらない 野のはなも
 かみさまは そだててくださる」って かみさまは さかせてくださる」って
 イエスさまの おことば。 イエスさまの おことば。

3. 「よいこになれない わたしでも、
 かみさまは あいしてくださる」って
 イエスさまの おことば

説教 「神さまの偏愛、博愛」

賛美 487 「イエス、イエス」

(はじめと各節のおわりに歌う)

イ エ ス - イ エ ス - し ゅ の あ い で わ
 た し た ち み た し て く だ さ い *Fine*

1. で し た ち の あ し て し ず か に あ ら い
 2. し ゅ の へ だ て た ち ば の ち が い
 3. し ゅ の あ い さ れ た す べ て の ひ と が
 4. し も べ の よ う に た が い に つ か え

ひ と に つ か え る - し ゅ よ -
 す べ て を こ え る - し ゅ よ -
 わ た し の と な り - び と -
 イ エ ス と と も に あ - ゆ も う - *D.C.*

- 1 イエス、イエス、
 主の愛で 私たち 満たしてください。
 弟子たちの足 静かに洗い
 ひとに 仕える主よ。
- 2 イエス、イエス、
 主の愛で 私たち 満たしてください。
 人種のへだて 立場の違い
 すべてを超える 主よ。
- 3 イエス、イエス、
 主の愛で 私たち 満たしてください。
 主の愛された すべての人が
 私の隣り人。
- 4 イエス、イエス、
 主の愛で 私たち 満たしてください。
 しもべのように 互いに仕え
 イエスと共に 歩もう。
 イエス、イエス、
 主の愛で 私たち 満たしてください。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「いつくしみ深い」によるジャズ風変奏曲 (T.タマリ)

司式 山野上 純子
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。